

モビリティ人材育成事業

持続可能な交通網の創造・都市と地方の
人流をデザインする人材育成事業

実施報告書

MaaS活用・芸北地域交通検討実行委員会

令和7年1月31日



目次

事業目的	1
事業概要	2
実施内容(人材育成プログラム)	4
地域公共交通・多様な主体に関連するデータの集計・集約	9
観光分野における共創モデル仮説の設計.....	12
令和 7 年度実証運行計画案(利用者増加対策・打ち手)の検討	15
事業成果(当初計画の遂行状況)	17
別冊資料情報	18

事業目的

北広島町・安芸太田町は、各町の地域公共交通計画に基づき、デマンド交通や定額タクシーなど利用者データの収集を図ることで、実績データに基づく住民向け地域公共交通サービスの継続・改善など検討を開始している。

地域交通事業者は、サービス提供において人口減少への対応・働き手確保に向けた更なる生産性の向上が求められることから、実績データ活用による利用者・事業者目線に基づく事業の再編や利用者の増加対策など、具体的対策・打ち手の検討・展開が喫緊の課題となっている。

本事業の目的は、北広島町・安芸太田町エリアの地域公共交通サービスを担う交通事業者が中心となって、モビリティ人材を育成する仕組みを検討・構築するとともに、地域公共交通の持続可能性の向上に資する人材を育成することである。

事業概要

基本情報(当初計画)

事業名	持続可能な交通網の創造・都市と地方の人流をデザインする人材育成事業
事業期間	令和6年9月19日(交付決定日)～令和7年1月31日
事業実施者	MaaS活用・芸北地域交通検討実行委員会 地域公共交通のR・デザイン推進を目的に、広島県芸北地域(北広島町・安芸太田町)の交通事業者で構成される実行委員会組織。 【構成員】 北広島町：ホープバス協同組合/構成会社:(有)大朝交通、(株)八重タクシー、(株)総合企画コーポレーション 安芸太田町：三段峡交通(株)、加計交通(株)
事業実施地域	広島県山県郡(芸北地域)北広島町・安芸太田町および、広島市(の一部地域)
人材育成の対象	事業参加者：交通事業者(MaaS業務担当)、観光・宿泊・物販事業者・団体などのマーケティング担当者、市民・自治体職員
習得するスキル	交通に関する知見 ・ データ活用のノウハウ ・ コーディネートスキル
人材育成の手法	セミナー×2回、ワークショップ×1回、フィールドワーク×1回を開催
人材育成の内容	地域の多様な主体者を対象に、地域公共交通の現状や課題および、データサイエンスの基礎知識習得の研修会を開催するとともに、デジタル活用スキルの向上(観光型MaaS・DX活用スキル向上)を目的とした講義・実習をはじめ、課題解決に向けた対策検討・意見交換会の開催、人材交流・マッチング支援を通じモビリティ人材を育成する。
想定受講人数 (当初計画)	交通事業者、観光・宿泊・物販事業者・団体、市民・自治体職員(セミナー等の合計参加者数) 30名
想定育成人数 (当初計画)	目標5名(交通事業者3名/北広島町・安芸太田町・広島市など各1名、その他2名/北広島町・安芸太田町各1名)

人材育成プログラム(概要)

テーマ・目的	開催概要
<p>プログラム①セミナー テーマ:地域公共交通の現状や課題 目的:地域公共交通に関する知見の習得(向上支援) 開催日:9月25日</p>	<p>企画内容:地域公共交通計画から、地域公共交通の現状や課題を学ぶ 専門家:株式会社バイタルリード代表取締役 森山 昌幸 開催場所・参加者数:北広島町会場・安芸太田町会場 合計 27名 (北広島町役場:交通9社、自治体2名、町会議員1名、商工会2名、観光協会1名・計15名)、(安芸太田町役場:交通4社、自治体2名、商工会1名、DMO2名、地域企業3社・計12名)</p>
<p>プログラム②セミナー テーマ:データサイエンス入門 目的:データ活用のノウハウに関する知見の習得(向上支援) 開催日:9月25日</p>	<p>企画内容:データサイエンス入門・データ活用の重要性を学ぶ 専門家:株式会社バイタルリード代表取締役 森山 昌幸様 開催場所・参加者数:北広島町会場・安芸太田町会場 合計 27名 (北広島町役場:交通9社、自治体2名、町会議員1名、商工会2名、観光協会1名・計15名)、(安芸太田町役場:交通4社、自治体2名、商工会1名、DMO2名、地域企業3社・計12名)</p>
<p>プログラム③ワークショップ テーマ:MaaS・IT活用スキル向上 目的:デジタルスキル強化支援 開催日:12月11日</p>	<p>企画内容:観光型MaaS・IT(OTA※・電子チケット)活用スキル向上 専門家:株式会社日本旅行MaaS事業推進本部 古川 太一様 開催場所・参加者数:北広島町商工会会議室・合計23名 (交通7社9名、自治体3名、DMO・観光協会3名、商工会3名、地域企業3社6名) ※Online Travel Agent=オンライン・トラベル・エージェント</p>
<p>プログラム④フィールドワーク テーマ:地域企業コーディネート事例視察 目的:コーディネートスキル強化 開催日:1月16日</p>	<p>企画内容:MOBIRY※を活用した地域企業コーディネート事例の現地視察 ファシリテーター:一般社団法人地域商社あきおた 志水大將様 開催場所・参加者数:安芸太田町道の駅・JA広島市戸河内支店会議室 合計17名(交通7社、自治体2名、DMO2名、地域企業4社6名) ※広島電鉄(株)が、広島県内で提供する交通・観光電子チケットの仕組み 名称:モビリティ</p>
<p>プログラム⑤人材交流・マッチング テーマ:課題解決に向けた対策検討 目的:交通事業者と共創先人材の交流・マッチング支援 開催日:1月16日</p>	<p>企画内容:地域公共交通の利用者増加対策の仮説を踏まえ、共創先として想定する地域の多様な主体(宿泊・観光・飲食事業者等)と交通事業者の人材交流やシステムソリューション事業者とのマッチングを開催・支援。 開催場所・参加者数:JA広島市戸河内支店会議室・合計18名 (交通7社、自治体2名、DMO2名、地域企業5社7名)</p>

実施内容(人材育成プログラム)

プログラム①セミナー

実施概要	開催日:令和6年9月25日 開催場所・時間:北広島町役場・10:00~10:50 安芸太田町役場・13:30~14:30 (2会場開催) 参加者数:27名(2会場合計)
目的	地域公共交通に関する知見の習得(向上支援)
テーマ	地域公共交通の現状や課題
実施内容	<p>1.地域公共交通の現状や課題について 説明者 (北広島町会場)北広島町まちづくり推進課 土井 孝行様 (安芸太田町会場)安芸太田町企画課 富樫 敬史様</p> <ul style="list-style-type: none">・計画の概要・地域公共交通の現状・地域公共交通の課題・地域公共交通計画の目標 (終了後、5分程度質疑対応) <p>2.【行政主体】利用者の増加を目的とした打ち手・対策について 専門家(2会場共通講師) 株式会社バイタルリード代表取締役 森山 昌幸様</p> <ul style="list-style-type: none">・過疎地域における公共交通の利用促進策 (終了後、5分程度質疑対応) <p>3.デマンド交通利用者データを活用した利用者の増加対策の検討案について 発表者(2会場共通) 事務局:YMFG ZONE プランニング</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の利便性/満足度向上①地域内共創モデルの取り組みに関する仮設検討 商業施設(小売店)・病院・福祉施設との共創モデルなど②地域内外共創モデルの取り組みに関する仮設検討 複数交通モードの連携による地域住民のシームレスな移動と消費拡大など

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

・人材育成プログラム実施報告書①②(北広島町・安芸太田町)

・配布資料①②(北広島町会場・安芸太田町会場)

プログラム②セミナー

実施概要	開催日:令和6年9月25日 開催場所・時間:北広島町役場・10:50～11:45 安芸太田町役場・14:30～15:30 (2会場開催) 参加者数:27名(2会場合計)
目的	データ活用のノウハウに関する知見の習得(向上支援)
テーマ	データサイエンス入門
実施内容	<p>4.デマンド交通利用者(実績)データの概要について 発表者(2会場共通) 事務局:YMFG ZONE プラニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用目的・目的地データの集計・分析概要(生活関連サービス) ・利用時間・曜日データの集計・分析概要(混雑時間・曜日の傾向) ・車両別乗合率・平均乗車人員分析概要(エリア・目的地) ・利用アカウント数・トリップ数分析概要(月間トリップ数・利用アカウント数の傾向) <p>5.【事業者主体】利用者の増加を目的とした打ち手・対策について 専門家(2会場共通講師) 株式会社バイタルリード代表取締役 森山 昌幸様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域における交通事業者の取組 <p>6.地域の多様な主体に関するデータを活用した利用者の増加対策の検討案について 発表者(2会場共通) 事務局:YMFG ZONE プラニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ③観光・商業施設等集客・現地消費額に関するデータ仮設検討 観光・商業施設等との共創モデル(観光2次交通・貨客混載・モビリティ拠点)など ④地域外(広島市内観光客)共創モデルの取り組みに関する仮設検討 訪日インバウンド観光客をターゲットにした観光事業の開発など <p>7.意見交換(交通事業者を中心とした取り組みの検討) テーマ:地域内・地域内外・2町広域連携・地域外共創モデルなど ファシリテーター(2会場共通) 有限会社大朝交通 堀田祐作氏</p>

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

・人材育成プログラム実施報告書①②(北広島町・安芸太田町)

・配布資料①②(北広島町会場・安芸太田町会場)

プログラム③ワークショップ

実施概要	開催日:令和6年12月11日 開催場所:北広島町商工会議所会議室 開催時間:13:30~15:20 参加者数:23名
目的	デジタルスキル強化(民間 MaaS・IT 活用スキル向上) 支援
テーマ	観光型 MaaS・IT(OTA)活用スキル向上
実施内容	<p>1.観光型 MaaS や OTA を活用した交通事業の取り組みについて</p> <p>(1)JR 西日本 WESTER を活用した利用者増加の取り組みについて 専門家(講師) 株式会社日本旅行 MaaS 事業推進本部 古川 太一様</p> <p>①日本旅行における MaaS 事業についてご紹介 ②WESTER、tabiwa アプリのご紹介 ③WESTER を活用したデジタルリレーションのご紹介 ④日本旅行の取り組み実績 ⑤地域事業者様と進める取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MaaS チケットの造成について ・MaaS チケットの効果的な販売 ・事業者様との連携体制の構築 <p>(2)OTA(JTRweb)情報共有 (3)質疑応答</p> <p>2.デジタルチケットを活用した利用者増加対策の取り組みについて</p> <p>発表者 広島電鉄株式会社 バス事業本部 藤谷 有紀様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ活用事例 安芸太田町などの取組事例 ・新たな取り組みに向けたご案内 ・質疑応答 <p>3.意見交換(交通事業者を中心とした取り組みの検討)</p> <p>テーマ:地域内外・地域外共創モデルの取り組みなど ファシリテーター 有限会社大朝交通 堀田祐作氏</p>

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

人材育成プログラム実施報告書③・配布資料③

プログラム④フィールドワーク

実施概要	開催日:令和7年1月16日 開催場所:安芸太田町道の駅・JA 広島市戸河内支店会議室 開催時間:13:00～14:00 参加者数:17名
目的	コーディネートスキル強化支援
テーマ	MOBIRY※を活用した地域企業コーディネート事例の現地視察 ※広島電鉄(株)が、広島県内で提供する交通・観光電子チケットの仕組み
実施内容	1.フィールドワーク-コーディネートスキル強化研修 ・MOBIRY(モビリィ)活用事例 現地視察 案内者：一般社団法人地域商社あきおおた 志水大将様 道の駅 来夢とごうち～バスターミナル ・バスノー旅の取り組みについて 発表者：一般社団法人地域商社あきおおた 志水大将様 質疑応答

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

人材育成プログラム実施報告書④・配布資料④

プログラム⑤人材交流・マッチング

実施概要	開催日:令和 7 年 1 月 16 日 開催場所:JA 広島市戸河内支店会議室 開催時間:14:00～15:20 参加者数:18 名(オンライン参加者 1 名を含む)
目的	交通事業者と共創先人材の交流・マッチングを支援
企画内容	地域公共交通の利用者増加対策の仮説を踏まえ、共創先として想定する地域の多様な主体(宿泊・観光・飲食事業者等)と交通事業者の人材交流やシステムソリューション事業者とのマッチングを開催・支援。
実施内容	<p>2. マッチング(システムソリューション提供事業者)支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 西日本 wester を活用した配車予約サービスの取組事例 事例発表者:株式会社 REA 横山 雄一郎様 質疑応答 <p>3. 人材交流・意見交換(交通事業者を中心とした取り組みの検討)</p> <p>テーマ(案):地域公共交通を活用した共創モデルの仮説設計(検討)</p> <p>ファシリテーター(2 会場共通) 有限会社大朝交通 堀田祐作氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域(高速・在来)幹線バス事業との共創による地域交通事業の活性化 ・令和 7 年度実証事業計画(案)仮説設計

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

人材育成プログラム実施報告書⑤・配布資料⑤

地域公共交通・多様な主体に関連するデータの集計・集約

1. 北広島町・安芸太田町「デマンド交通」に係る基礎データ集約

目的: 実績データに基づく地域公共交通サービスの継続・改善など検討を行う

出所: 北広島町エリア: 令和6年度ホープタクシー(デマンド交通)の利用者データ

(個人情報が紐づかない事業内で共有可能な匿名データを集計・集約)

安芸太田町エリア: 令和6年度 morica(モリカー/定額タクシー)の利用者データ

(個人情報が紐づかない事業内で共有可能な匿名データを集計・集約)

内容: データ集計・集約項目(北広島町・安芸太田町2町個別集計)

1. 月間利用者数の概要について
2. 利用アカウント数・トリップ数の概要について
3. 目的地情報データの概要について
4. 利用時間・曜日情報データの概要について
5. 車両乗車情報データの概要について

【データ集計・集約事例(抜粋)】

1. 月間利用者数の概要について

安芸太田町

- 令和5年度定額タクシー月間乗車人員(ユニークユーザー数・延べ人員・利用回数)
- ユニークユーザー数最多月は12月: 416人(令和5年4月~令和6年3月期中)
- 3月の利用者が最も多く、ユニークユーザー数は412人・延べ乗車人員は1,946人である。(ユニークユーザー351名~416名が各月に利用、平均380名である。)
- 6月の利用者数が最少である。



2. 利用アカウント数・トリップ数の概要について

北広島町

- デマンド交通利用回数別集計
(月間トリップ数別利用アカウント数)
- 最も利用の多いアカウントで1か月間(12月実績)で99回の利用がある。
- 月に2回利用するアカウントが最も多く、次いで1回利用するアカウントが多い。

利用回数	アカウント数	トリップ数
1回	12	12
2回	15	30
3回	10	30
4回	8	32
5回	6	30
6回	5	30
7回	4	28
8回	3	24
9回	2	18
10回	1	10
11回	1	11
12回	1	12
13回	1	13
14回	1	14
15回	1	15
16回	1	16
17回	1	17
18回	1	18
19回	1	19
20回	1	20
21回	1	21
22回	1	22
23回	1	23
24回	1	24
25回	1	25
26回	1	26
27回	1	27
28回	1	28
29回	1	29
30回	1	30
31回	1	31
32回	1	32
33回	1	33
34回	1	34
35回	1	35
36回	1	36
37回	1	37
38回	1	38
39回	1	39
40回	1	40
41回	1	41
42回	1	42
43回	1	43
44回	1	44
45回	1	45
46回	1	46
47回	1	47
48回	1	48
49回	1	49
50回	1	50
51回	1	51
52回	1	52
53回	1	53
54回	1	54
55回	1	55
56回	1	56
57回	1	57
58回	1	58
59回	1	59
60回	1	60
61回	1	61
62回	1	62
63回	1	63
64回	1	64
65回	1	65
66回	1	66
67回	1	67
68回	1	68
69回	1	69
70回	1	70
71回	1	71
72回	1	72
73回	1	73
74回	1	74
75回	1	75
76回	1	76
77回	1	77
78回	1	78
79回	1	79
80回	1	80
81回	1	81
82回	1	82
83回	1	83
84回	1	84
85回	1	85
86回	1	86
87回	1	87
88回	1	88
89回	1	89
90回	1	90
91回	1	91
92回	1	92
93回	1	93
94回	1	94
95回	1	95
96回	1	96
97回	1	97
98回	1	98
99回	1	99

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

【参考資料⑥】北広島町・安芸太田町デマンド交通に係る基礎データ

2. 北広島町・安芸太田町広域地域公共交通に係る基礎データ集約

目的：実績データに基づく広域地域公共交通サービスの継続・改善など検討を行う

出所：北広島町エリア・・・令和6年度広島電鉄バス利用者データ

安芸太田町エリア・・・令和6年度広島電鉄バス利用者データ

(個人情報が紐づかない事業内で共有可能な匿名データを集計)

内容：データ集計・集約項目

1. 琴谷線(在来)利用者実績データ(北広島町エリア)
2. 三段峡(在来)利用者実績データ(安芸太田町エリア)
3. 三次線(高速)利用者実績データ(北広島町エリア)
4. 庄原線(高速)利用者実績データ(北広島町エリア)
5. 三段峡(高速)利用者実績データ(安芸太田町エリア)

【データ集計・集約事例(抜粋)】

1. 琴谷線(在来)利用者実績データ



2. 三段峡(在来)利用者実績データ



詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

【参考資料⑦】北広島町・安芸太田町広域幹線交通に係る基礎データ

3. 北広島町・安芸太田町「多様な主体」に関連するデータの集約

目的：実績データに基づく地域公共交通サービスの共創モデルの検討を行う

出所：北広島町・・・北広島町観光客統計調査票平成27年～令和4年データを集計

安芸太田町・・・安芸太田町観光客統計調査票平成30年～令和5年データを集計

広島市・・・令和5年広島市観光動向調査データ出典

内容：データ集計・集約項目

- 1.北広島町観光動態データ
- 2.安芸太田町観光動態データ
- 3.広島市観光動態データ

【データ集計・集約事例(抜粋)】

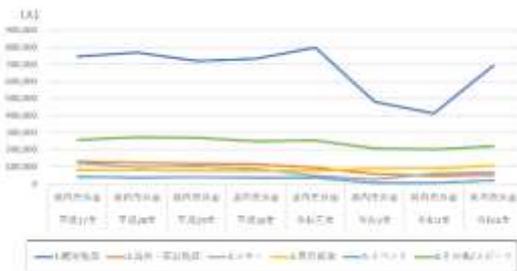
1.北広島町観光動態データ(出所:北広島町観光客統計調査票)

● 県内外入込観光客数の推移(人数)

○ 観光施設を目的とした訪問者が多い。

○ 町外訪問者数観光施設Top3は

①道の駅舞戸ーFIC千代田 ②中国平和記念墓地公園 ③八王子よみがえりの水

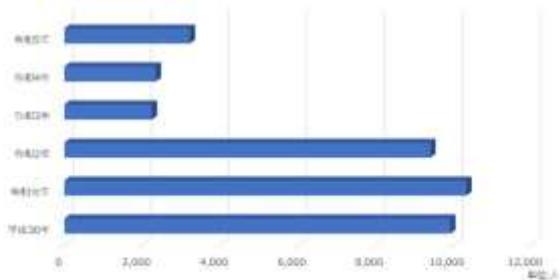


2.安芸太田町観光動態データ(出所:安芸太田町観光客統計調査票)

● 海外観光客数(全体)

○ 令和3年に海外観光客数が大きく減少し、令和5年にかけて緩やかに増加しているが、以前の数値には回復していない。

○ 令和5年の海外観光客数は3,229人。



3.広島市観光動態データ(出所:令和5年/2023年広島市観光動向調査)

○ 令和5年、入込観光客数は令和元年の約7割まで回復し、外国人観光客も約8割回復している。

○ 外国人観光客の1人当たり観光消費額は令和元年に比べ、530円増加している。

広島市入込観光客数の推移

区分	令和5年 2023年	令和4年 2022年	令和3年 2021年	令和2年 2020年	令和5年 2023年	
					前年(2022年)	令和元年(2019年)
入込観光客	1,827,000人	2,044,000人	2,000,000人	870,000人	1,228,000人	204,000人
一歩観光客	1,480,000人	1,600,000人	1,500,000人	700,000人	1,000,000人	18,000人
観光客1人	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,530円
外国人観光客	180,000人	200,000人	200,000人	50,000人	180,000人	1,100,000円

広島市観光消費額の推移

区分	令和5年 2023年	令和4年 2022年	令和3年 2021年	令和2年 2020年	令和5年 2023年	
					前年(2022年)	令和元年(2019年)
観光消費額	2,200億円	2,100億円	2,100億円	1,000億円	2,200億円	1,100億円
1人当たり消費額	1,200円	1,000円	1,000円	1,000円	1,200円	770円
1人当たり消費額(外国人)	1,530円	1,000円	1,000円	1,000円	1,530円	1,000円
外国人観光客1人当たり消費額	1,530円	1,000円	1,000円	1,000円	1,530円	530円

詳細については、別冊資料ご参照ください。

別冊資料

【参考資料⑧】市町別観光動態データ

観光分野における共創モデル仮説の設計

1. 地域内共創モデル 観光客向け(交通空白解消)乗合タクシー運行

定額タクシー・デマンドタクシーのスキームを活用、「交通空白」解消に向けた乗合タクシーを運行。

【実証運行イメージ】

住民利用空白時間帯の活用	曜日：土日 時間帯：⇒ 当番制などエリアを限定しない取り組み方法を検討
実績データ(観光動態)の活用	北広島町：中国平和記念墓地公園14.6万人、八王子よみがえりの水9.1万人、聖湖・八幡高原7.9万人 安芸太田町：温泉ダム9万人、三段峡8万人
予約・手配オペレーションの実証	予約スキーム：観光乗合タクシー予約・決済(デジタル) → 配車センター(アナログ変換) → 車両配車 その他：予約・乗車証明書発行・管理、精算管理など

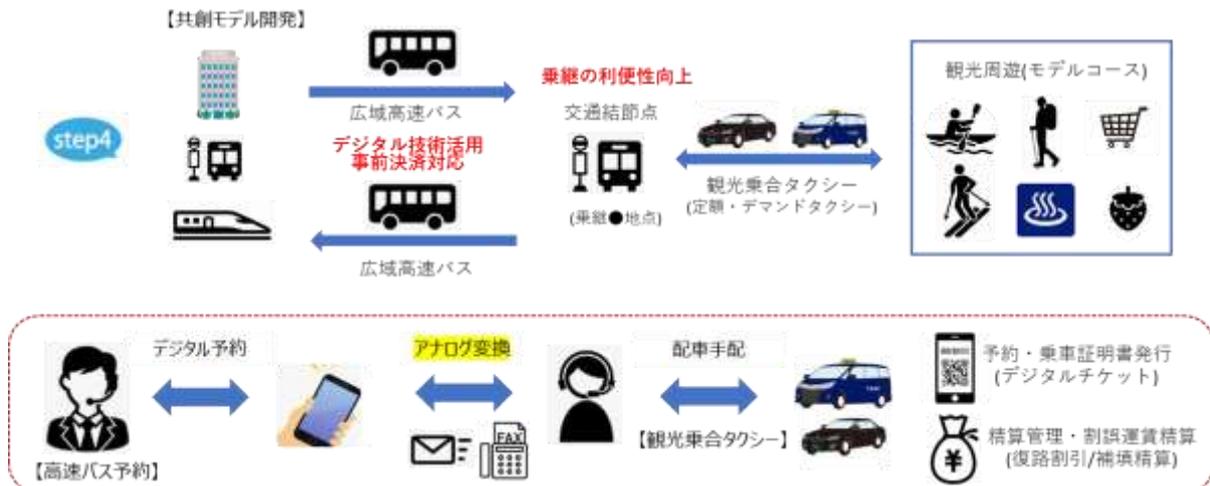


2. 地域内外共創モデル 住民・観光客向け乗継の利便性向上対策

広域(高速・在来)幹線バスと乗合(定額・デマンド)タクシーの乗継(住民・観光向け)サービスを提供。

【実証運行イメージ】

高速バス利用空白時間帯の活用	曜日：土日 時間帯：全便
観光客向け乗合タクシーとの連携	住民向け・・・スムーズな乗継予約・利便性向上による利用者増加対策への活用検討 観光客向け・・・観光目的地①、自然体験(自然散策、低山登山、トラン、サイクリングなど)
予約・手配オペレーションの実証	予約スキーム：高速バス予約 → タクシー予約(デジタル) → 配車センター(アナログ変換) → 車両配車 その他：予約・乗車証明書発行・管理、精算管理など



3. 周遊モデルコース(案) 低山登山・縦走コース(北広島町・安芸太田町・広島市)

北広島町・安芸太田町の強みである自然資源を観光の目的地として企画・設定、目的地化を図る。

【運行コースイメージ①】地図・写真出所:YAMAP ホームページ

【臥龍山～掛頭山コース】 歩経路：約8.8km／所要時間：約4.5h

▲：山 💧：水飲み場 🚻：トイレ S：登山道 G：登山道 📍：コース

概要 中級者向け。コースは西中国山地国定公園の中にある。臥龍山はブナをはじめとしてミズナラ・トチノキといった落葉広葉樹の原生林が広がり、訪れた人は豊かな自然を楽しんでいる。ただ、クマに遭遇する可能性もあり注意が必要。現在は多くの登山者が近くに車を停めて周回するコースを通っている。



掛頭山



- ・標高: 1,126m
- ・山頂からは麓の田園風景や中国山地の山並みを一望できる。奥斜面には芸北国際スキー場のゲレンデが広がっている。
- ・秋から春にかけては壮大な雲海風景を目にすることが出来る。

雪雲水



臥龍山の8合目にある湧き水。硬度10以下の超軟水。

臥龍山



- ・標高: 1,223m (北広島町最高峰)
- ・地元の人には功隆(かりお)山の名で親しまれている。
- ・山頂の大岩(写真右)は高さ約2mあり、撮影スポットとなっている。

(地図・写真 出所:YAMAP ホームページ)

【運行コースイメージ②】

【瀬戸の滝～十方山～丸子頭～二軒小屋コース】 歩経路：約5km/所要時間：約2.5h

概要 十方山山頂への道のりは急坂が続き、平らな道は少ない。こちらクマに遭遇する可能性がある。現在は、十方山登山口から始まり丸子頭で往復するが、十方山を目指すコースで周回する人が多い印象。



瀬戸の滝



- ・総高63m、落差49mの荘厳な二段滝

丸子頭



- ・標高: 1,236m
- ・展望はあまりなく、十方山の山頂付近が見える程度

十方山



- ・標高: 1,318m
- ・広島県3番目の高さ
- ・360度のパノラマ景色が見渡せる。

(地図・写真 出所:YAMAP ホームページ)

【運行コースイメージ③】

【一兵家山～中野冠山コース】歩経路：約6.2km／所要時間：約4h



概要 初心者向け。コースには4つのピークがある。集落から近いコースで、深山に分け入るといふより、里の気配を比較的近くに感じながら歩け、どこか安心感があるコース。中野冠山を登るには坂が急な所がある。クマが出る場所があるので注意。訪れる方は、周囲するコースもあれば、近くの山を更に縦走するコースもある。



(地図・写真 出所:YAMAP ホームページ)

【運行コースイメージ③】

【三段峡コース】 所要時間：約 2 h



概要 訪日観光客向け。コースは、下図の通り、三段峡入口から始まり、黒淵まで徒歩で進む。そこから渡船に乗り遊覧を楽しみ、船を降りて再び徒歩で水梨口まで進む。道中は川と森林に囲まれ、時折、石橋や姉妹滝といった見どころも存在し気持ちよく歩ける。



(地図・写真出所:YAMAP ホームページ)

目的地化により、新たな観光ルート・乗車場所(観光用バス停)を設定、新たな区域運行の検討を行う。
多様な主体(宿泊・入浴・飲食・体験サービス含む)との共創により、付加価値提供を図る。

令和7年度実証運行計画(利用者増加対策・打ち手)案の検討

地域公共交通の持続可能性向上に向け、利用者増加対策・打ち手として実証運行計画案の検討を行った。

1. 国内旅行客(自然体験)・インバウンドを対象とした「観光の足」

(1) 運行イメージ(広島市内発着)



(2) 共創モデル(案) 広島市内交通事業者：広島電鉄株式会社

共創対象者(予定) → 広域(高速・在来)幹線バスとの共創を踏まえ広島電鉄/モビリーの活用を想定

ロゴ・チケットイメージ 出所:広島電鉄ホームページ

(3) 共創モデル(案) 地域観光事業者：宿泊(入浴含む)・飲食・体験サービス

① 宿泊・飲食施設(例)

宿泊施設との連携による送迎+食事+入浴+体験サービス



写真出所:地域商社あきおたホームページ

② 体験サービス(例)

SUP(龍姫湖)



森林セラピー (三段峡・龍頭峡・深入山・恐羅漢)



黒瀬渡船(三段峡)



写真出所:地域商社あきおたホームページ

(4) 共創モデル(案) 観光型 MaaS 事業者：JR 西日本・株式会社日本旅行

広島市外及び県域外の旅行者誘客を促進、MaaS 連携・IT 活用を基本戦略とする。

広島都心部(広島駅新幹線口や広島バスセンター)から北広島・安芸太田町の玄関口～目的地を結ぶ。

観光型MaaS(案) → **JR西日本・日本旅行との共創、WESTER・tabiwaの活用を想定**

鉄道・バスなどが乗り放題の周遊バスや観光・グルメのチケット購入、旅先のスポット情報、経路検索など旅に必要なサービスが詰まった観光ナビへの商流構築を図る。



(5) ターゲット:自然愛好家(案)

北広島町・安芸太田町の強みである自然資源を観光の目的地として企画・設定、目的地化を図る。

スキー場をはじめ、多様な主体(宿泊・入浴・飲食・体験サービス含む)との共創により、付加価値提供を図る。

③ 自然体験(例)

自然体験を主目的とした送迎+食事・入浴サービス



出所:地域商社あさおたホームページ

【臥龍山～掬龍山コース】 歩経路:約8.8km/所要時間:約4.5h

【瀬戸の滝～十方山～丸子頭～二軒小屋コース】 歩経路:約5km/所要時間:約2.5h

(地図・写真 出所:YAMAP ホームページ)

(6)令和 7 年度に向けた展開(予定)

北広島町・安芸太田町担当課を通じ、両町長に地域公共交通の持続可能性向上に向けた「利用者増加対策・打ち手」として実証運行計画案を報告の上、改めて次年度の取り組みに向け相談・検討を行う。

事業の成果(当初計画の遂行状況)

項目	当初計画(交付申請時)	遂行状況	備考
事業実施地域	広島県山県郡北広島町・安芸太田町および広島市	○	北広島町・安芸太田町および広島市に所在する交通事業者を中心に事業を実施した。
人材育成の対象	交通事業者(MaaS 業務担当)、観光・宿泊・物販事業者・団体などのマーケティング担当者、市民・自治体職員	○	地域の多様な主体を対象とした人材育成を実施した。
習得するスキル	・交通に関する知見 ・データ活用のノウハウ ・コーディネートスキル	○	習得を目指す各スキルに対しプログラムを提供した。
人材育成の手法	・セミナー×2回 ・ワークショップ×1回 ・フィールドワーク×1回 合計4回開催	○	当初計画を達成、人材育成プログラム4回開催をはじめ人材交流・マッチング支援を1回実施した。
人材育成の内容	・地域公共交通の現状や課題、データサイエンスの基礎知識習得の研修会を開催。 ・デジタル活用スキルの向上(観光型MaaS・DX活用スキル向上)を目的とした講義・実習を開催。 ・課題解決に向けた対策検討・意見交換会の開催、人材交流・マッチング支援を開催。	○	当初計画を達成、予定するプログラムをすべて実施した。
想定受講人数	セミナー等の合計参加者数 30名	◎	合計参加者数 112名(累計)
想定育成人数	目標 5名	◎	交通事業者を中心に、10名程度を中核人材として育成を開始した。

(○実施済み、◎当初目標2倍以上)

当初計画(交付申請時)については、全て実施済みである。セミナー等の合計参加者数については、当初の想定を大幅に上回る結果(◎)となった。育成人員も同様に、交通事業者を中心に想定を大幅に上回る人員を育成支援することができた。(中核人材:交通事業者6名、DMO・観光協会・地域企業4名)

別冊資料情報

(9/25 セミナー)

- 人材育成プログラム実施報告書①②(北広島町・安芸太田町)
- 配布資料①②(北広島町会場・安芸太田町会場)

(12/11 ワークショップ)

- 人材育成プログラム実施報告書③
- 配布資料③

(1/16 フィールドワーク)

- 人材育成プログラム実施報告書④
- 配布資料④

(1/16 人材交流・マッチング)

- 人材育成プログラム実施報告書⑤
- 配布資料⑤

(地域公共交通・多様な主体に関連するデータの集計・集約)

- 【参考資料⑥】北広島町・安芸太田町デマンド交通に係る基礎データ
- 【参考資料⑦】北広島町・安芸太田町広域幹線交通に係る基礎データ
- 【参考資料⑧】市町別観光動態データ